

本表の略記法について

リソースに出現する CodeableConcept 型の要素は以下のような構造をとる。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
n	要素名				0..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
n.1		coding			0..*	Coding		表現したいコンセプトのコード記述。 繰り返しにより複数のコード体系によるコーディングで記述できる。
n.1.1			system		1..1	uri	“http:.....”	コード体系。
n.1.2			code		1..1	code	“B0EF”	コード。
n.1.3			display		0..1	string	“持続腹痛”	コード体系におけるコードに対応するの表示名
n.2		text			0..1	string	“長く続く腹部の痛み”	表現したいコンセプトのテキスト記述

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。値の欄は、4 つの行(子要素)に使う値を列挙するが、省略することもある。多重度の記載は、1 段目に CodeableConcept 型の要素自体の多重度、2 段目にその子要素 coding の多重度(上表 n.1 の多重度)を転記している。

n	要素名				0..1 0..*	CodeableConcept	“http:.....” “00” “持続腹痛” “長く続く腹部の痛み”	説明
---	-----	--	--	--	--------------	-----------------	---	----

なお、coding の多重度の最小値が 0 (すなわち省略可能) の場合には、コードによる記述をせず、以下のようにテキストだけで記述することも許されている。

表 DeviceUseStatement リソース 医療機器使用歴情報

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
1	resourceType						“DeviceUseStatement”	<b>DeviceUseStatement</b> リソースであることを示す
2	text				0..1	Narrative		本リソースをテキストで表現したものをに入れてもよい。
2.1		status			1..1	code	“generated”	固定値。テキスト内容の全てがリソースのコンテンツから生成されたことを示す。
2.2		div			1..1	xhtml	<div xmlns=“http://www.w3.org/1999/xhtml”>xxx</div>	値は例示。
3	identifier				0..1	Identifier		この情報に付番された ID

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
3.1		system			1..1		"urn:oid:..."	付番方法については「識別子名前空間一覧」を参照。値は例示。
3.2		value			1..1		"2020-10-002933"	この情報 ID の文字列。値は例示。
3	status				1..1	code	"active"	臨床的状態のステータス。 コード表: "http://hl7.org/fhir/device-statement-status" active :使用中 completed :終了 entered-in-error :エラー intended :使用予定 stopped :使用中止 on-hold :使用保留
4.2	subject				1..1	Reference(Patient)	"urn: ....."	対象となる患者リソースへの参照。
	timingPeriod				0..1	Period		この医療機器の使用期間。
		start			0..1	dateTime		開始日付。
		end			0..1	dateTime		終了日付。
	recordeOn				0..1	daeTime		この記録日時。
	device				1..1	Reference(Device)		医療機器情報への参照。
	reasonCode				0..1	CodeableConcept		医療機器の使用理理由。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
								当面、text でのみ記述する。
	reasonReference				0..1	Reference(Condition   Observation   DiagnosticReport   DocumentReference   Media)		医療機器を使用する理由を説明できる検査結果や診断レポートなどへの参照。
4.1	bodySite				0..*	CodeableConcept	“urn:oid:1.2.392.200119.4.201.5” “1244” “腹部” “腹部”	医療機器を使用する解剖学的な場所を示す。 system 値は MEDIS 標準病名マスター修飾語交換用コードを使用する場合の例示。”1244”は、MEDIS 標準病名マスター修飾語交換用コードで“腹部”のコード。“腹部”はそのテキスト記述の例。 機器交換などの操作対象部位の場合には、 system 値は外保連コード (STEM7) の先頭 3 桁コードを使用する。” <a href="http://jpfhir.jp/fhir/CodeSystem/Procedure-Site">http://jpfhir.jp/fhir/CodeSystem/Procedure-Site</a>
	note				0..*			この家族に関する一般的な情報のテキスト記述
		author						記載者の情報
			authorString		0..1	string	“患者自身”	記載者氏名などの文字列。必ずしも氏名でなくてもよい。
		time			0..1	dateTime		この追加的な情報が作成された日時。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
		text			1..1	markdown		追加的な情報の内容。markdown形式のテキストが使用できる。データとして 1M バイト以内であること。